

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

検討経過

平成30年7月3日 平成30年度 第1回大阪府景観審議会

- 都市景観ビジョン・大阪の推進 「淀川の魅力ある景観づくりに向けた検討」

平成30年8月2日 **第1回 検討会**

- 話題提供 ・「淀川と景観まちづくりについて」 京都市立芸術大学 藤本教授
- 意見交換 ・基本目標、景観資源の発掘と整理について

平成30年9月7日 第2回 淀川沿川まちづくりラットフォーム会議

- 検討状況の報告
- 意見交換 ・基本目標、景観資源の発掘と整理について
・景観発掘コンテストの実施について

平成30年9月19日 **第2回 検討会**

- 意見交換 ・第1回を踏まえた基本目標について
・景観資源の情報発信、実施方策について

平成30年12月20日 第3回淀川沿川まちづくりプラットフォーム会議

- 検討状況の報告
- 意見交換 ・骨子案について

構成案

1.はじめに

2.淀川と景観

2-1 淀川の特徴

2-2 検討範囲

2-3 景観の捉え方

3.景観づくりの基本目標と基本方針

3-1 基本目標

3-2 基本方針

4.淀川の魅力ある景観づくりに向けた具体的な取組み

4-1 淀川が持つ豊かな自然景観を維持・保全する取組みを促進する

4-2 景観資源が持つ歴史、文化等の特徴を活かした景観魅力を向上させる取組みを促進する

4-3 淀川の景観を楽しむことができる活動・にぎわいを創出する取組みを促進する

4-4 効果的な情報発信

5.むすびに

参考資料

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

1.はじめに

- 大阪の将来像を示すグランドデザイン・大阪都市圏では、広域連携型都市構造を踏まえた都市空間創造の例として、淀川において「沿川市町が持つ個性豊かなストックやポテンシャルを活かした様々な取組みを、関係者が連携して進めることで、一層の集客魅力あふれる都市空間を創造する」としている。
- また、大阪府の景観形成の方向性を示す都市景観ビジョン・大阪では、「河川軸において、川と関わりの深い周辺の歴史文化遺産等との調和やつながりを意識するなど、川との関係を活かした景観を形成するとともに、地域の特性や自然との共存、安全性に配慮した親水空間づくり、河川沿いの緑地の保全等を図る」としている。
- さらに、淀川沿川が魅力あふれる都市空間とすることをめざし、沿川まちづくり団体等が自由に意見交換を行う場である「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」において「淀川沿川広域連携型まちづくり戦略」が策定され、魅力ある景観の形成に取り組むこととしている。
- そこで、淀川の魅力ある景観づくりを促進するため、自然、歴史・文化、沿川で営まれる様々な活動等の景観資源を広域的な観点から整理し、景観形成にかかわる様々な主体が共有する基本目標や景観資源を活用した具体的な取組み等を取りまとめた方針を示すものである。

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

2. 淀川と景観

2-1 淀川の特徴

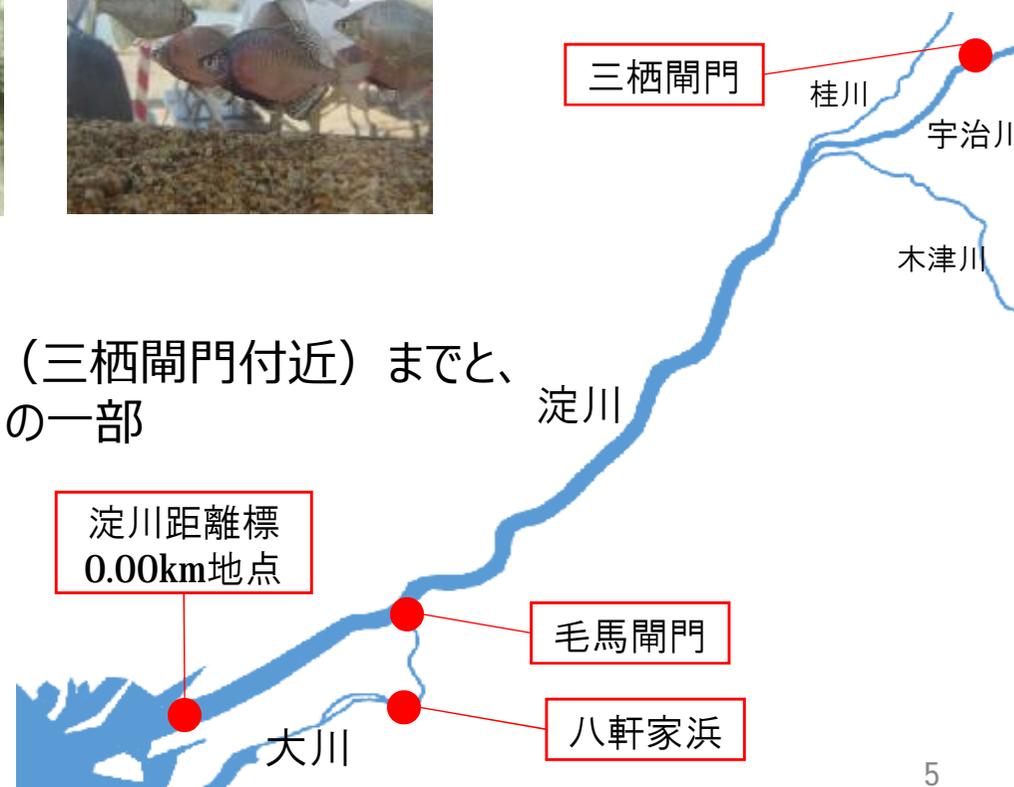
- ・淀川流域は昔から政治、経済、文化の中心として、様々な人の活動が営まれてきた
- ・古くから琵琶湖～瀬戸内海を結ぶ舟運のネットワークとして、多くの人や物が流域を往来
- ・自然豊かな地域から河川公園等の様々な活動がみられる地域まで多様な特徴を持つ
- ・干潟、ワンド等には琵琶湖・淀川水系の固有種や希少種を含む、様々な生き物が生息
- ・淀川の歴史は水害との戦いの歴史でもある



都名所図会 淀（国際日本文化研究センター）



写真提供：淀川河川事務所



2-2 検討範囲

- ・河口（淀川距離標0.00km地点）から伏見（三栖閘門付近）までと、現在、舟運が就航している、旧淀川である大川の一部（八軒家浜～毛馬閘門）を含む範囲とする



淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

2. 淀川と景観

2-3 景観の捉え方

- ・自然や構造物などの静の景観だけではなく、自然保全活動や様々なにぎわいの活動などの動の景観も、淀川の景観を構成する重要な要素
- ・淀川本来の自然環境をベースに、目に見えるものだけではなく、歴史・文化等の社会的背景やその成り立ちも含めて、景観資源を捉えることが重要
- ・また、淀川の治水・利水の機能や淀川が生物の生育の場であることを理解した上で、景観資源を捉えることが重要
- ・このような考えのもと、次の分類を基本とし
 - 自然・生物 : 川の流れ・水面、ワンド、干潟、ヨシ原、生物 など
 - 都市・インフラ : 橋梁、建築物、船着場 など
 - 歴史・文化 : 渡し舟跡碑、洪水碑、歴史的建造物 など
 - 活動・にぎわい : 河川空間を活用したイベント、舟運 など



- ・景観を構成する複数の要素（空、山、構造物等）の関係（形、色、組み合わせ等）を意識
- ・季節、時間帯などの時間軸も考慮して景観資源の魅力を整理（夜景、夕日、桜、イベント等）

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

3.景観づくりの基本目標と基本方針

3-1 基本目標（案）

「大河川・淀川の景観魅力の向上を通じた、多くの人々が享受できる様々な恵みの創造」



3-2 基本方針（案）

- 淀川の豊かな自然環境の保全や再生への意識を共有し、地域の特徴を活かした取組みの促進
- 淀川の歴史や文化等のストーリー性を楽しめるようにすることで、景観資源の魅力を高める取組みの促進
- 淀川沿川の多様な景観資源を効果的に活用し、多様な主体が連携しながら、川とまちが一体となったまちづくりの促進

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

3.景観づくりの基本目標と基本方針

3-2 基本方針（案）

- 淀川の豊かな自然環境の保全や再生への意識を共有し、地域の特徴を活かした取組みの促進
 - ・ワンドや干潟の役割や保全活動の重要性について情報発信するとともに、自然が身近に感じられる取組みを促進することで、淀川への関心や愛着を育てる。

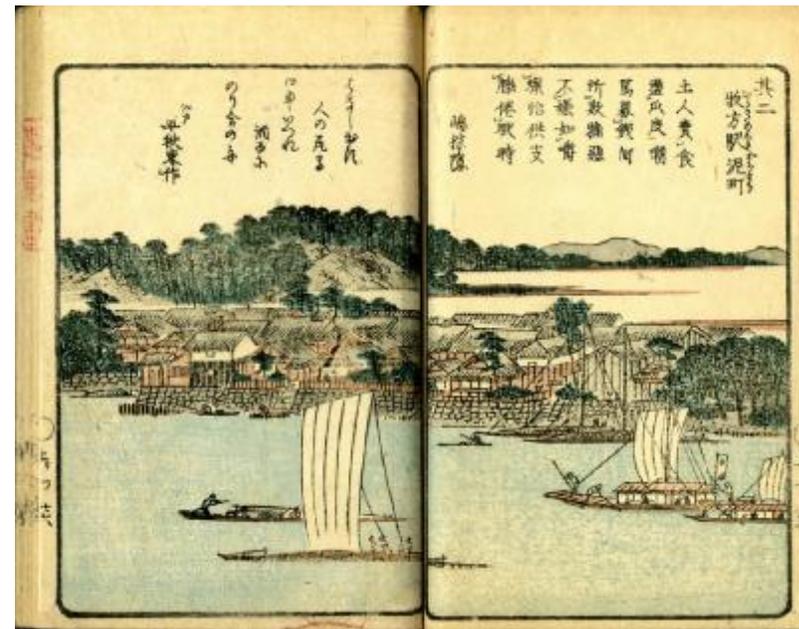


淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

3.景観づくりの基本目標と基本方針

3-2 基本方針（案）

- 淀川の歴史や文化等のストーリー性を楽しめるようにすることで、景観資源の魅力を高める取組みの促進
 - ・景観資源が持つ歴史的な背景やその成り立ち等をあわせて発信したり、景観資源が持つ特徴を活かす工夫をすることで、多様な人々の関心をひく仕掛けづくりを行う。



写真提供：大阪市立図書館

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

3.景観づくりの基本目標と基本方針

3-2 基本方針（案）

- 淀川沿川の多様な景観資源を効果的に活用し、多様な主体が連携しながら、川とまちが一体となったまちづくりの促進
 - ・多様な主体が連携し、川と人をつなぐ活動を継続的な取り組みとすることで、新たな景観を創出し、景観魅力あふれるまちづくりを促進する。



淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

4. 淀川の魅力ある景観づくりに向けた具体的な取組み

4-1 淀川が持つ豊かな自然景観を維持・保全する取組みを促進する

- 沿川の住民や企業の淀川への関心や愛着を向上させることで、自然保全活動への参画を促し、更なる意識の向上を図る
 - ・学校や地域活動の場を通じた自然保全等の河川教育の促進
 - ・企業と共同した清掃活動等の実施
- 淀川の自然景観を楽しむ利用を促進することで、自然保全の意識の向上を図る
 - ・河川が日常的な生活空間として利用されるための仕掛けづくり（里川空間整備、ベンチ設置等によるくつろげるスペースの創出等）
 - ・自然の雄大さを感じることができる新たな視点場の創出（気球からの自然景観の観賞等）



地域団体による自然体験学習



企業による清掃活動



写真提供：淀川河川公園管理センター

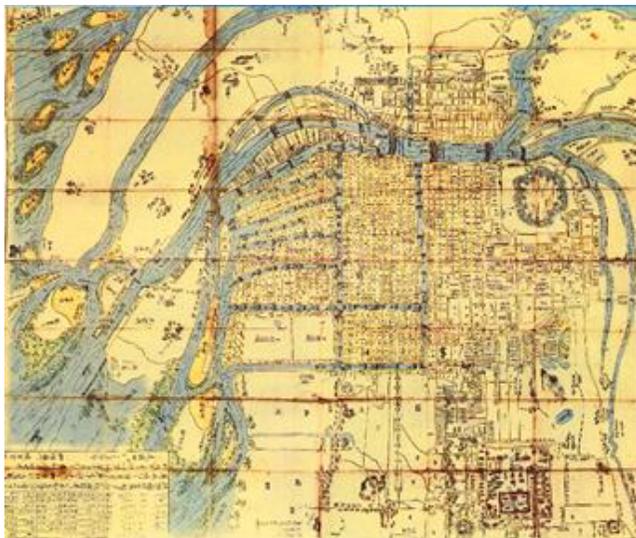
気球からの自然観照

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

4. 淀川の魅力ある景観づくりに向けた具体的な取組み

4-2 景観資源が持つ、歴史、文化等の特徴を活かした景観魅力を向上させる取組みを促進する

- 目に見える景観と過去の情景や歴史的な背景等をあわせて伝えることで景観魅力の向上を図る
 - ・過去の情景を想起させる古地図等の活用
（大学と連携したデジタル古地図等の活用による船内コンテンツの充実等）
 - ・景観資源が持つ歴史・文化的背景等の特徴をあわせて発信（景観マップ等の作成）
- 景観資源に新たな魅力を付加することで、新たな景観を創出する
 - ・沿川の建築物・土木構造物を活用した新たな景観の創出
（橋梁のライトアップ、橋脚の壁面等にアート作品を施した景観シンボルの創出等）



写真提供：大阪市立図書館

新撰増補大坂大絵図（元禄4年）



隅田川のライトアップ

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

4. 淀川の魅力ある景観づくりに向けた具体的な取組み

4-3 淀川の景観を楽しむことができる活動・にぎわいを創出する取組みを促進する

○ 淀川が持つ景観魅力を感じながら、スポーツやレジャーを体験できる取組みを促進し、これらを継続的に行うことで、人の活動そのものが淀川の新たな景観となるようにする

・ 河川空間を活用し、淀川の雄大な自然を満喫できるキャンプ、スポーツ大会、イベント等の実施



写真提供：淀川河川事務所

河川空間でのキャンプ



いかだ作り体験



写真提供：ひらかた淀川スポーツ祭実行委員会

河川空間でのマラソン

○ 淀川周辺のまちづくり活動やイベントと連携した取組みを促進することで、新たなにぎわいを創出する

例：枚方宿におけるくらわんか五六市とみなと五六市の連携



みなと五六市



写真提供：淀川河川事務所



くらわんか五六市

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

4. 淀川の魅力ある景観づくりに向けた具体的な取組み

4-4 淀川の魅力ある景観を効果的に情報発信する

- 人、もの、メディア、場所等の多様な手段による発信
 - 人：環境学習・防災学習の場を通じた発信等
 - もの：包装紙裏面に淀川沿川の魅力ポイントを印刷してPR等
 - メディア：HP・SNSによる発信等
 - 場所：観光スポット・イベント、電車等における発信等



- 行政、まちづくり団体、企業、府民・市民等の多様な主体による発信
- まちづくり団体等と連携し、景観資源にまつわる地域固有の情報等を淀川の新たな景観魅力として発信
- 淀川に誇りや愛着を持ち情報発信に精通した人が淀川の魅力を発信することが重要

淀川の魅力ある景観づくりに向けて（骨子案）

5.むすびに

- 淀川の魅力ある景観づくりを実現するため、淀川沿川まちづくりプラットフォームメンバー等による先導的な取組みを促進することで、沿川の企業やまちづくり団体等の景観づくりに向けた取組みにつなげる
- 大阪府は、国や淀川沿川の自治体等と協力し、自然環境・景観の保全や都市インフラ・建築物の景観への配慮、各地域の取組みの相互交流等について調整を図ることで、これらの取組みを支援し、広域的な景観づくりを促進していく

